

資料5 2024年度(R6年度)の主な取組み

いよいよ来年に迫った大阪・関西万博の開催を見据え、万博のインパクトを活かした都市魅力の創造・発信や、安全・安心に滞在できる受入環境整備など、大阪都市魅力創造戦略2025に基づく重点取組みをはじめとした各種施策を推進。

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

- 2025年日本国際博覧会の推進
- IRの推進
- 大阪市内の重点エリアの魅力向上
- 世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用【一部新規】
- 水都大阪
- 万博記念公園の魅力向上
- ヨット及びクラシックカーを活用した機運醸成事業【新規】
- デジタル技術を活用した大阪のにぎわい創出

■ 大阪の強みを生かした魅力創出・発信

- 大阪の食の魅力の発信
- 国内外の人々を惹きつけるキラーコンテンツの創出
- 大阪・光の饗宴【拡充】
- 大阪観光局の取組み

■ さらなる観光誘客に向けた取組み

- 大阪府域等への観光誘客・周遊促進
- 大阪デスティネーションキャンペーン
- 万博プラス関西観光推進事業
- 外国人旅行者の安全確保
- 宿泊施設における受入環境整備

■ 戦略的なMICE誘致の推進

- MICE推進に向けた取組み【一部新規】

■ 文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

- 大阪国際文化芸術プロジェクト
- 大阪文化資源魅力向上事業
- 現代美術振興事業【一部新規】
- 芸術文化による大阪の魅力向上

■ スポーツツーリズムの推進

- 大阪いのち輝くスポーツプロジェクト
- スポーツチームと連携した万博機運醸成事業
- 大阪マラソン【一部新規】

■ 大阪の成長・発展につながる

国内外の高度人材の活躍推進

- 高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）
- 実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）
- 外国人留学生就職等支援
- 万博国際交流事業【新規】
- 英語イノベーション事業

※詳細は、「（別添）取組み概要」資料を参照

■ 世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

2025年日本国際博覧会の推進

府市

R6年度当初予算案 65,457,983千円

事業概要

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）の成功に向け、地元自治体として担うべき開催準備等を推進する。

○ 会場整備・交通アクセスにおいて、円滑な開催に向け、引き続き国や関係機関と調整を行う。

○ 大阪ヘルスケアパビリオンの建築については、2024年10月に建物を完成させ、万博開幕向け、本格的な展示制作を進める。
運営及び行催事については、マニュアル策定を行い、警備、清掃、運営に関する事業者決定及びスタッフの募集・研修などに取り組む。

○ 府民・市民一人ひとりに向けたPR活動や万博への理解促進、来場意欲度の向上につながる取り組みをの推進などによって、機運醸成を図る。
また、国や博覧会協会、その他関係機関とも連携し、各主体が有するツールやネットワーク等を活用して府内外に向けた機運醸成を進めていく。

○ 多くの方に大阪・関西万博ボランティアに参加いただけるよう、募集、研修、活動準備等を進めていく。また、オール大阪で地元の魅力を発信するため、府と府内市町村が連携した自治体参加催事（（仮称）大阪ウィーク）の実施をめざし、準備を進めていく。

世界遺産百舌鳥・古市古墳群の保存活用

府

R6年度当初予算案 35,620 千円
一部新規

事業概要

世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」について、「世界遺産条約」に基づく義務を果たすため、資産の保存・活用や資産の価値と魅力を発信する取組みを、大阪府、堺市、羽曳野市、藤井寺市が一体となり進める。

○ 魅力発信の取組み（デジタルメディア活用事業、VR制作業務）等を実施
海外メディアを活用したPR記事への広告配信（サイト内、YouTube）等

・ 2024年度 広告配信予定

・ 2024年度 VRコンテンツ制作予定

大阪市内の重点エリアの魅力向上

府市

事業概要

都市の魅力向上に向けて、大阪市内の重点エリアの魅力向上、発信の各種取組を推進する。

[①大阪城・大手前・森之宮地区]

豊臣石垣公開事業 [R6年度当初予算案 783,351千円]
初代大坂城の石垣を掘り起こし、公開施設の整備、「特別史跡大坂城跡保存管理計画」の推進、文化財の整備・活用を行う。

○ 2022～2024年度：
施設整備工事、斜面復旧工事、施設展示製作、遺構モニタリング、
豊臣石垣保存公開 検討会議

○ 2025年春の公開施設オープンをめざす。

難波宮跡公園の整備 [R6年度当初予算案 157,909千円]
2025年大阪・関西万博開催に向け、「史跡難波宮跡附法円坂遺跡整備基本計画」に示された短期計画の早期実現をめざす。

○ 2024年度 北部ブロック公園完成予定

[②御堂筋地区]

御堂筋活性化事業 [R6年度当初予算案 557,000千円]
御堂筋の賑わい創出、憩いや交流など都市魅力の向上や活性化につながる取組みを行う。

○ 2024年度 御堂筋の都市魅力向上や活性化の推進
御堂筋の空間再編 [R6年度当初予算案 1,551,000千円]
「車中心から人中心の道路空間」へと、道路空間再編（側道歩行者空間化）を行う

○ 2024年度 側道歩行者空間の完成予定

IRの推進

府市

R6年度当初予算案 109,940千円

事業概要

夢洲において、大阪・関西の持続的な経済成長のエンジンとなる世界最高水準の成長型 I Rの実現をめざし、開業に向けた取組みを進めていく。

○ 2030年 秋頃 I R施設の開業※
※ 工程が最も早く進捗した場合の想定

■世界第一級の文化・観光拠点の進化・発信

水都大阪

府市

事業概要

① 水都大阪コンソーシアム事業 [R6年度当初予算案 67,450千円]

「水と光の首都大阪」の実現に向けて、府・市・経済界等による公民共通のプラットフォームである「水都大阪コンソーシアム」において、万博インパクトを活用し、水辺のにぎわい創出や舟運の活性化に取り組む。

2024年度

・万博を契機に新たな船着場の活用等による乗船機会の創出

・水都大阪のブランディングと情報発信の強化

・万博、さらにその先を見据えた水辺のステークホルダーとの連携強化

② 水辺の魅力空間づくり [R6年度当初予算案 1,597,369千円]

舟運をはじめ水辺も楽しめる観光メニューが集結するターミナルの整備、水辺魅力の向上や、舟運活性化に資する空間・景観整備を行う。

○ 水辺の魅力向上に向けた基盤整備

海と川の結節点にある中之島GATEターミナルの整備において、水の回廊の新たなにぎわい拠点として、民間事業者によるにぎわい施設や船着場の整備工事を進める。

2024年度

船着場の整備（2023～）

2025年度

船着場の開業予定

○ 新たな舟運ルートの発掘・創出

兵庫・大阪間の新たな舟運ルートの発掘、創出により万博会場と観光地等を結ぶ水上交通ネットワークを構築し、来訪者の周遊・滞在を促進する。

2024年度

メディア等へのfamトリップやツアーの魅力伝えるPR動画の制作、発信

○ 東横堀川の水辺空間利用の促進（本町橋～農人橋間（右岸側））

2024年度

工事・完成予定（2022～）

○ 水と光を活かした景観創出

万博会場と大阪市内を結ぶ舟運ルート沿いに、水と光を活かした景観の創出等により、多数の万博来場者を船に呼び込み水都大阪の魅力を強力に発信する。

2024年度

コンテンツ制作、プレ実施

2025年度

本格実施

万博記念公園駅前周辺地区活性化事業

府

R6年度当初予算案 1,756,959千円

事業概要

大規模アリーナを中核とした大阪・関西を代表する新たなスポーツ・文化の拠点づくりを推進するため、世界最先端の機能を有するアリーナと、アリーナを中核とした周辺施設が相乗効果を発揮し、大阪・関西、ひいては西日本の成長、発展の起爆剤となるよう取組む。

○ 2024年度

環境アセスメント継続実施

○ 2025年度

アリーナ等建設工事着工

○ 2028年度

第Ⅰ期（アリーナ等）開業

○ 2036年度

全施設開業

ヨット及びクラシックカーを活用した機運醸成事業

府

R6年度当初予算案 10,256千円

新規

事業概要

【①ヨットイベント開催運営費】

周りを海で囲まれた夢洲で開催される大阪・関西万博の特徴を活かし、会場周辺でヨットの大々的なパレードを開催するとともに、大型帆船の体験乗船などのイベントを実施する。

【②クラシックカーイベント開催運営費】

クラシックカーで府内の観光スポットを巡り、府内各地の魅力のPRを行う。また、万博会場周辺に会場を設け、クラシックカーの展示をはじめ、話題性のあるイベントを開催する。

○ 2024年度

事業者公募プロボザールの実施、プロモーション・広報活動

○ 2025年度

万博開催に併せて春に実施予定

デジタル技術を活用した大阪のにぎわい創出

市

R6年度当初予算案 49,435千円

事業概要

大阪城、史跡難波宮跡について、AR技術等のデジタル技術を活用した魅力発信等を行うことにより、誰もが文化財等に親しめる機会を創出し来訪者を増加させるとともに、地域活性化、にぎわい創出を図る。

○ 2024年度

デジタルコンテンツの制作

3

■大阪の強みを生かした魅力創出・発信

大阪の食の魅力の発信

府市

事業概要

大阪の強みである「食」のコンテンツの磨き上げや発信などを行い、大阪の賑わいを創出する。

①食のブランディングに向けた取り組み [R6年度当初予算案 大阪観光局運営事業 (524,224千円) の一部]

食に関する事業を通じて大阪の「食」ブランディングに向けた取り組みを推進する。

- 2024年度
- 情報発信サイトでの「食」ブランディング関連の情報発信
- 高付加価値食体験コンテンツの造成

②大阪産（もん）グローバルブランド化促進事業 [R6年度当初予算案 66,183千円]

事業者への支援等により付加価値の高い大阪産（もん）づくりを進めるとともに、大阪産（もん）のPR販売や販路拡大等を促進し、ブランド力の向上と購入機会の拡大を図る。

- 2024年度
- 農山漁村発イノベーションに取組む事業者支援、人材育成研修・交流会、大阪産（もん）PRイベントを実施予定。

③食を活用した観光魅力開発事業

民間事業者等との連携により、大阪ならではの「食」の魅力を発信し、観光客の誘致及び観光消費の拡大を図る。

- 大阪地場素材をふんだんに味わえる「あじわい大阪」特別メニューの提供
- エンタメ要素が組み込まれた食と体験のコラボ商品の提供 など

大阪・光の饗宴

府市

R6年度当初予算案 580,456千円

事業概要

「御堂筋イルミネーション」、「OSAKA光のルネサンス」、地域団体等が展開するエリアプログラムを一体的に展開し、都市魅力の創造・発信や都市ブランドの向上を図る。

大阪の冬を代表する観光コンテンツの充実を図り、国内外からの観光客の満足度を高め、さらなる呼び込みを図る。

樹木などのイルミネーションに光度や色彩の変化が可能なLEDでの装飾を加えるなど、より圧倒的で魅力的な光空間を創出することで、大阪の都市魅力の向上と万博の機運醸成を図る。また、万博の開幕に合わせて点灯し、来阪者をおもてなしするための準備を行う。

- 2024年11月～12月頃 イベント開催予定

国内外の人々を惹きつけるキラコンテンツの創出

府市

R6年度当初予算案 386,468千円

事業概要

大阪のシンボリックなエリア（御堂筋、中之島、水の回廊など）において話題性のあるキラコンテンツを実施し、大阪の魅力を全世界に強力に発信することで、多くの方々を大阪に誘客する起爆剤となるプロモーションイベントを開催する。

2025年大阪・関西万博の機運醸成に向けたプロモーション事業とも連携。

- 2024年秋頃 イベント開催予定

大阪観光局の取組み

府市

R6年度当初予算案 524,224千円

事業概要

大阪観光局において、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化、効果的なプロモーションや地域と連携したMICE誘致などの事業に取り組み、来阪宿泊数等を増加させることで、新たな観光関連産業の振興や地域の活性化につなげ、経済効果の向上を図る。

- 国内外へのプロモーション、国内外教育旅行誘致
- 広域周遊の促進（エリアごとにテーマを設定した新たなコンテンツの造成など）
- 観光DX・マーケティングリサーチ（観光に関するデータベースの構築、データを活用した府内市町村の観光戦略策定支援、観光アプリ（XR機能）を活用した取組みなど）
- 観光魅力の創造（食、歴史、スポーツ、ウェルネス等、大阪らしい観光素材の開発、ペットツーリズム、ガストロノミーツーリズム等の推進、Osaka Free Wi-Fiの整備など）
- MICE誘致の推進（万博に関連したMICE誘致、国内外へのプロモーションなど）
- 観光情報の発信（観光案内所の運営、HPやSNSによる国内外への情報発信など）

■さらなる観光誘客に向けた取組み

大阪府域等への観光誘客・周遊促進 府市

事業概要

大阪・関西万博開催に向け、大阪の観光資源を活用したイベント開催等により、大阪への集客・周遊を促進し、万博の機運醸成や成功につなげるとともに、兵庫県と連携した広域観光プロモーションにより大阪・兵庫への周遊を促進する。

①大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊事業[R6年度当初予算案600,000千円]

国内外の来訪者が大阪ならではの魅力的な体験を楽しめる「大阪来てな！キャンペーン」を府内全域で展開し、大阪の観光資源の強みを活かした集客・周遊の促進とともに、万博の機運醸成に取り組むことで、万博の成功及び大阪の成長・発展につなげる。

- 2024年夏頃事業開始予定

②観光コンテンツ等のプロモーション [R6年度当初予算案 5,570千円]

観光分野における兵庫・大阪の連携を進め、万博来訪者の県内・府内への滞在、周遊を促進するため、2023年度に造成した観光コンテンツ・広域周遊モデルコースをさらに磨き上げるとともに、海外インフルエンサーによる魅力発信など、プロモーションを実施する。

- 2024年 5月頃事業開始予定

宿泊施設における受入環境整備 府

R6年度当初予算案 34,000千円

事業概要

宿泊施設（特区及び新法民泊施設を含む）における来阪旅行者のための多言語化対応などの「おもてなし」環境整備に係る事業に対し補助を行うことにより、受入対応の強化を図り、旅行者の宿泊需要への対応やリピーター確保につなげていく。

- 2024年 5月 募集開始予定

大阪デスティネーションキャンペーン 府市

R6年度当初予算案 90,518千円

事業概要

大阪・関西万博開催を契機とし、大阪府、大阪市、堺市、観光関連団体、経済団体などで構成する大阪デスティネーションキャンペーン推進協議会が、J R 6社（北海道・東日本・東海・西日本・四国・九州）と連携した全国規模の観光キャンペーンを展開し、大阪・関西万博の機運醸成、府域への誘客・周遊促進を図ることにより、観光消費の拡大を図る。

- 2025年 本キャンペーンの実施
- 2026年 アフターキャンペーンの実施

万博プラス関西観光推進事業 府市

R6年度当初予算案 10,000千円

事業概要

関西の自治体（2府8県4政令市）及び民間企業等が一体となって、万博のテーマ等を踏まえた新しい旅行商品やコンテンツの造成を進め、関西各地の特色や生活文化等の魅力を“KANSAI”として発信し、万博及び関西への誘客を進める。

- 2024年度～2025年度 旅行商品造成、プロモーションの実施、特設ウェブサイトでの情報提供等

外国人旅行者の安全確保 府市

R6年度当初予算案 1,791千円

事業概要

災害時等に外国人旅行者自らが身を守るために必要な情報を入手できる環境をつくるとともに、ホテル等との災害時の連携協定締結を進め、災害時に一時避難できる場所を確保することにより、外国人旅行者が安心・安全に大阪の旅行や観光を楽しめる環境を整備する。

- 2024年度 旅行者向けのリーフレットの配布拡大、支援フロー及びガイドラインの周知、府内宿泊施設との協定締結の促進に引き続き取り組む。

■ 戦略的なMICE誘致の推進

MICE推進に向けた取組み

府市

一部新規

事業概要

「大阪MICE誘致戦略」に基づき、官民が一体となって戦略的にMICE誘致を展開することで、大阪に集積する産業分野を生かしたビジネスやイノベーションの機会を創出し、観光消費の拡大を図る。

万博開催に向け大阪・関西への注目が高まり、活発な国際交流が期待される中、国際会議をはじめとするMICEを積極的に誘致・創出するため、国際会議の誘致・開催への助成を行うとともに、MICE関連のイベントにおいて情報発信を行うことにより、MICE開催の増加を図る。

①MICE誘致のための取組み R6年度当初予算 大阪観光局運営事業（予算：524,224千円）の一部]

万博に関連したMICE等の誘致に向け、国内外へのプロモーションや情報発信を実施。

②万博と連動した国際会議誘致・開催支援事業 R6年度当初予算 31,500千円]

2025年の万博開催地である大阪・関西への注目が集まるタイミングをとらえ、大阪で開催するMICEを積極的に誘致するために、国際会議の誘致・開催において必要となる経費の一部を助成する。

○助成対象事業

【国際会議Ⅰ】[上限額 500万円]

- ・会期が2日以上、現地で総参加者数が50名以上であること
- ・日本を含む3 居住国・地域以上からの参加者があること
- ・「大阪MICE誘致戦略」に定める重点分野（ライフサイエンス、ものづくり等）や万博のテーマなどに関する国際会議であること

【国際会議Ⅱ】[上限額 1,000万円]

- ・国際会議Ⅰの各要件を満たすものであること
- ・国際機関が主催するものであること
- ・3か国以上をローテーションして開催されるものであること

③情報発信の強化 [R6年度当初予算 1,790千円（市）][新規]

大阪のMICE開催地としての知名度を向上するため、国内外の主催者やMICE関連事業者に対し、MICE関連のイベントへの出展を通じて、ユニークベニューやアフターコンベンションなどに活用可能な施設等のPRを行う。

■文化・芸術を通じた都市ブランドの形成

大阪国際文化芸術プロジェクト 府市 R6年度当初予算案 780,000千円

事業概要
大阪・関西万博を好機と捉え、府市連携のもと、大阪が誇る上方伝統芸能や音楽、アートなど多彩で豊かな文化の魅力を発信し、万博の機運醸成を図るとともに、大阪の成長につなげていく。府内各地のホールや万博記念公園、大阪城、中之島エリア等で、様々な文化芸術プログラムを実施し、文化芸術活動を活性化させ、2025年度の大規模な文化芸術祭の開催につなげる。
○ 2024年度 通年で実施予定

大阪文化資源魅力向上事業 府 R6年度予算額144,000千円

事業概要
市町村等と連携し、府内各地の文化資源を舞台とした公演等を実施することで、地域の魅力向上、地域への誘客につなげる。
○ 2024年度 通年で実施予定

現代美術振興事業 府 一部新規

事業概要
①大阪府所蔵美術作品活用活性化事業
[R6年度当初予算案 31,288千円]【新規】
府所蔵美術作品を府内各地に展示し、府民に身近な場所での鑑賞機会を提供するとともに、観光資源としての活用を図ることで、大阪府を訪れる観光客の増加につなげていく。
②大阪府20世紀美術コレクション魅力発信事業 [R6年度当初予算案 19,705千円]
府所蔵美術作品「大阪府20世紀美術コレクション」を、バーチャル空間、デジタルアーカイブでの鑑賞ができる「大阪バーチャル美術館（enoco+）」を開設（令和5年11月30日）。令和6年度は、万博に関連するテーマ等でのバーチャル展示に取り組むとともに、デジタルアーカイブの掲載数を増加することで、さらなる拡充を図る。
③オオサカアートビレッジ事業 [R6年度当初予算案 46,093千円]【新規】
万博会場から目視可能な咲洲庁舎の外壁を活用した大規模な光のデジタルアートを展開。大阪におけるアート活動の機運を醸成するとともに、アートによる都市魅力の向上を図り、大阪への誘客につなげていく。

芸術文化による大阪の魅力向上 市

事業概要
①大阪クラシック [R6年度当初予算案 39,850千円]
御堂筋や中之島エリアで無料または低料金のクラシックコンサートを通じて、市民やビジターが気軽に第一級の芸術を楽しむ機会を提供するとともに、大阪ならではの芸術文化イベント開催により都市魅力の向上を図る。
○ 2024年9月実施予定
②大阪アジア映画祭 [R6年度当初予算案 27,788千円]
優れたアジア映画の鑑賞機会を市民に提供すること及び大阪での映像制作活動の促進を支援すること等を通じて、映像文化の裾野を広げ、芸術文化にあふれる大阪を国内外に発信する。また、大阪を映像文化の創造拠点として、都市の魅力を高めるとともに、交流と人材育成を図る。アジア最新作の上映や来日ゲストとの交流、シンポジウム、映画講座等を実施する。
○ 2025年3月 映画祭開催予定
③文楽を中心とした古典芸能振興 [R6年度当初予算案 40,000千円]
大阪の誇る文楽を中心とした上方の古典芸能に触れる機会を市民に提供することで、文楽をはじめとする古典芸能の振興を図ることを目的に、文楽に関する公演や行事を開催するとともに、国立文楽劇場での文楽鑑賞への興味を喚起する情報を発信する業務を実施する。
④大阪市芸術活動振興事業助成 [R6年度当初予算案 116,000千円]
団体・個人が行う芸術文化活動を公募し、アーツカウンシルの審査を経て、これらの事業経費の一部に対して助成を行う。
○ 募集期間
（特別・一般上期）2024年2月1日～2月22日
（一般下期）2024年6月下旬～7月下旬
○ 助成対象期間
（特別）2024年4月1日～2025年3月31日、（一般上期）2024年4月1月～9月30日、（一般下期）2024年10月1日～2025年3月31日
⑤美術館・博物館の魅力向上 [R6年度当初予算案 2,696,575千円（運営費交付金）]
「都市のコアとしてのミュージアム」の実現に向けて、（地独）大阪市博物館機構に第2期（2024～2028年度）中期目標を示し、運営費交付金を交付。大阪市博物館機構は、来館者目線に立った徹底したサービスの向上、博物館・美術館を一体的に運営する強みを活かした活動に重点的に取り組む。
○ 2024年度 集客力のある展覧会の誘致及び開催・戦略的広報の展開（大阪市博物館機構実施）

■スポーツツーリズムの推進

大阪いのち輝くスポーツプロジェクト

府市

R6年度当初予算案 97,262千円

事業概要

万博を契機として、テクノロジーの活用を取り入れながら、アーバンスポーツを中心に、誰もが楽しめるユニバーサルなスポーツツーリズムを展開し、大阪に多くの人をひきつけるとともに、スポーツを通じ、万博の機運醸成や万博のテーマと連動した健康づくりに取り組むことで、「いのち輝く」スポーツ都市の実現を図り、府市連携して大阪の成長を加速させていく。

- 2024年5月～2025年3月頃にかけて事業実施

スポーツチームと連携した万博機運醸成事業

府市

事業概要

①大阪スポーツプロジェクト推進事業 [R6年度当初予算案 10,000千円]

府内トップスポーツチーム、経済団体等が一体となった大阪スポーツコミッション（OSAKA SPORTS PROJECT）の取り組みとして、トップスポーツチームの府外試合会場等において大阪の都市魅力の発信を行うとともに、令和5年度事業コンテンツの利用促進や新たな地域周遊コンテンツの拡充を行うことで、スポーツによる地域活性化につなげていく。

- 2024年8月～2025年3月頃にかけて事業実施

②舞洲スポーツ振興事業 [R6年度当初予算案 4,000千円]

大阪市と舞洲を拠点に活動するプロスポーツチームが中心となり、情報発信、イベント、人材育成等のスポーツ振興事業を実施し、都市魅力の向上を図る。

- 2024年4月から2025年3月まで

大阪マラソン2025の開催

府市

一部新規

事業概要

①大阪マラソン2025の開催 [R6年度当初予算案 180,000千円]

2022年の第10回大会から「びわ湖毎日マラソン」と統合し、オリンピック等の代表選考レースとしての機能を併せ持つ、トップランナーも参加する大会となった。

今後は、さらなる魅力づくりに取り組むとともに、大会の国際化を推進することにより、世界トップレベルの市民マラソン大会をめざす。

- 大会名称：大阪マラソン2025（第13回大阪マラソン）
- 開催日：2025年2月23日（日）（予定）
- 参加定員：35,000人（予定）
海外ランナーの大会満足度 95%以上を目標
- コース：府庁前～造幣局～中之島周辺～御堂筋～京セラドーム大阪～大阪ビジネスパーク～大阪城公園

②大阪マラソンを活用した万博機運醸成

[R6年度当初予算案 20,997千円]【新規】

万博開催50日前のタイミングを捉えて、マラソンコースにおいて、万博をPRすることで、大会を盛り上げるとともに、大会のもつ国内外への発信力を活用して万博の機運醸成を図る。

- 大阪マラソン2025（第13回大阪マラソン）において実施

■大阪の成長・発展につながる国内外の高度人材の活躍推進

高校生等海外進学支援事業（おおさかグローバル塾）府

R6年度当初予算案42,483千円

事業概要
海外の大学で学位取得をめざす高校生を対象に、英語力やコミュニケーション力等の強化を図るとともに、海外の大学への進路指導を行うなど、総合的な支援を実施し、世界で活躍できるトップレベルのグローバル人材を育成する。
海外進学で必要となる英語検定試験「IELTS（アイエルツ）」のスコア向上に特化
する内容を追加し、受講生がより多くの進学先を選択できるよう英語力を向上させることで、さらに海外進学を支援する。
万博をテーマにしたプレゼン発表、来場を促すためのプロモーションなど機運醸成に向けた取組みを実施する。
○ 2024年 5 月 プログラム開始
○ 2024年8月3日～ 8 月11日 短期留学
○ 2025年3月 プログラム終了

外国人留学生就職等支援府市

事業概要
①外国人留学生就職支援事業〔R6年度当初予算案 2,178千円〕
大学・大学院に在学し、大阪府内での就職をめざしている外国人留学生を対象に、就職に関するセミナー等を実施することで、大阪企業への就職を促進し、外国人留学生の大阪への定着を図る。
○ 2024年4月～2025年 3 月 事業実施
②外国人留学生との連携拡大及び起業支援〔R6年度当初予算案 2,741千円
（大阪国際交流センター事業交付金の一部）〕
大阪市内に多数の留学生が居住・活動している特性を活かし、大阪のまちの国際化や魅力向上のため、国際的な視点・能力をもつ留学生が、ボランティア及び主体的にイベント等の企画や運営に携わることのできるプログラムを実施し、留学生のキャリアアップにつなげるとともに、地域への愛着を醸成することで、地域で活躍する国際人材としての育成・定着を図る。
また、留学生の起業支援を通して、地域を拠点とする新たなビジネス創出、国際人材の定着を促進する。
2024年度 通年実施

実践的英語体験活動推進事業（グローバル体験プログラム）府

R6年度当初予算案 7,877千円

事業概要
府内の高校生等を対象に、外国人スタッフとの実践的な英語体験活動を実施することで、参加する生徒が、海外への興味・関心を高め、英語でコミュニケーションをとることの楽しさを実感するとともに、外国人に自分の考えを伝えたり、大阪の魅力を紹介するなど、自然に英語で交流を図ることができるコミュニケーション感覚や能力を育成する。
生徒等のニーズに対応するため、オンラインの活用など実施会場まで移動しなくても英語体験できるような方法を新たに導入する。
○ 2024年4月～2025年 3 月 事業実施

万博国際交流事業府

R6年度当初予算案 8,091千円

新規

事業概要
府内の高校生を対象に、在関西総領事館や友好交流先等と連携し、各国の最新情勢や社会課題をテーマにした交流、体験型の一連のプログラムを提供することで、若者の国際感覚を醸成するとともに、交流の裾野を広げる。
○ 2024年4月～2025年 3 月 事業実施

英語イノベーション事業市

R6年度当初予算案 720,756千円

事業概要
英語教育の強化を図ることにより、児童生徒が自分の考えや意見を英語で伝えることができるコミュニケーション能力を育み、グローバル社会において活躍し貢献できる人材を育成する。
・ネイティブスピーカーを小学校、中学校の全校に配置
・「小学校低学年からの英語教育」を全小学校で実施
・小中学生が集中的に英語を使う機会を提供
・中学生の英語力を的確に把握し、指導改善を図るための英語力調査の実施
・教員の指導力・英語力の向上を図る研修の実施
○ 2024年 4 月 全小中学校にネイティブスピーカーを配置、
全小学校で小学校低学年からの英語教育を実施
○ 2024年 8 月 英語体験イベントを実施
○ 2023年10月 大阪市英語力調査（4 技能）実施
○ 2024年5月～2025年2月 教員の指導力及び英語力向上に向けた研修の実施